

都道府県別の子育て世帯の貧困率

北海道	19.7	滋賀	8.6
青森	17.6	京都	17.2
岩手	13.9	大阪	21.8
宮城	15.3	兵庫	15.4
秋田	9.9	奈良	11.7
山形	12.0	和歌山	17.5
福島	11.6	鳥取	14.5
茨城	8.6	島根	9.2
栃木	10.4	岡山	15.7
群馬	10.3	広島	14.9
埼玉	12.2	山口	13.5
千葉	10.4	徳島	12.4
東京	10.3	香川	11.6
神奈川	11.2	愛媛	16.9
新潟	12.0	高知	18.9
富山	6.0	福岡	19.9
石川	10.0	佐賀	11.3
福井	5.5	長崎	16.5
山梨	11.7	熊本	17.2
長野	11.1	大分	13.8
岐阜	9.4	宮崎	19.5
静岡	10.8	鹿児島	20.6
愛知	10.9	沖縄	37.5
三重	9.5	全国	13.8

格段に高まった貧困レベル

生活保護基準以下の収入で暮らす世帯と就労世帯の割合、子育て世帯の割合が急速に増えていることが山形大の戸室健作准教授の研究で明らかになりました。戸室氏は、都道府県別の実態も示し、「現在は、貧困のレベルが格段に高まった状況にある」と指摘しています。

戸室氏は、「貧困は、特定の地域に固有の問題ではなく全国一般の問題へと深刻化している」と指摘。「国が率先して貧困対策を進めることが重要」だとして、生活保護費の全額国庫負担化、最低賃金の大幅引き上げ、非正規雇用の活用規制を提言しています。

(「しんぶん赤旗」15日号より転載)



同請願は、「安保法制は、憲法9条が禁じる国際紛争解決のための武力行使を可能にするものであり、明らかに憲法に違反する法律。集団的自衛権の行使を容認した閣議決定(2014年7月)に基づく違憲の立法は、内閣と国会による立憲主義を否定し、かつ民主主義にもとるものとして、断じて認めることができない」とし、①憲法違反の「平和安全保障関連法」(安保法制)をす

この日は、請願団体の代表が意見陳述をし、その後、委員会で審査が行われました。審査の中では、日本共産党議員団の上野公悦議員が、「安保法制は、アメリカが勝手に起こした戦争に日本が巻き込まれるしくみの法制であり、平和憲法と相容れない。市民の願いを受け、意見書を政府に送るべきだ」と強く主張しました。

採決の結果、賛成5、反対1で採択され、民意がきちんと反映されました。この請願は23日の本会議で採決されることになっていきます。いま、どの世論調査を見ても安保法制(戦争法)に疑問を持っている人、廃止を求める人が多数です。ぜひとも、平和を願う世論にそって本会議でも採択してもらいたいですね。(写真は市民団体代表の意見陳述)

平和を願う世論にそって23日の本会議でも採択を！ 市議会総務委が戦争法廃止を求める請願を採択

上越市議会総務常任委員会は11日、市民団体が提出していた「安保法制の廃止を求める意見書の提出に関する請願」を賛成多数で採択しました。

みやかに廃止すること、②立憲主義の原則を堅持し、憲法9条を生かすこと、の実現を求める意見書を政府及び国会に提出するよう求めています。

日本共産党演説会に参加しませんか

安保法制(戦争法)強行に続き、公約違反のTPP本体の承認案と関連法案を国会に提出した安倍内閣。平和と国民生活をこわす暴走に



どうすればストップをかけられるのか。日本共産党の藤野保史衆院議員が語ります。

日時：3月27日(日)午後6時30分

会場：リージョンプラザ上越

上野公悦、平良木哲也両市議、日本共産党上越地区委員会副委員長の橋本正幸と橋爪法一も決意表明をします。



【チョウジザクラ】バラ科サクラ属の植物。漢字で「丁字桜」と書きます。ヤマザクラの中でも一番早く咲くので目立ちます。写真は県道柿崎牧線朔日峠付近にて撮影しました。

はしづめ法一の
活動レポート

No.1749 2016.3.20

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三九七回 初の出会い

先日の日曜日にも暖かい日となりました。気温はおそらく一五度くらいになったのではないでしょう。この日も忙しい日ではあったのですが、動き回っているときに思わぬ出会いがあり、心が温まりました。

国道253号線を車で進み、釜淵から虫川大杉駅の見えるところまで行ったとき、「こんないい天気だったらキクザキイチゲが咲いているかも知れない」と思いました。車を大杉のある集落に進め、そこから長さ七〇メートルほどの小さなトンネルを抜けて中猪子田をめざしました。

この道を選んだのには理由があります。数年前、虫川から安塚の坊金に至る道の土手に薄紫色の、きれいなキクザキイチゲの群落を見つけました。ひよつとすると、この北側の山裾にも咲いている場所があるのではないかと、そう思ったのです。

車をゆっくり走らせ、山裾を見たのですが、残念ながらそれらしきものは見つかりませんでした。「北側なんだから、まだ早かったのかも……」そう思っただけであきらめたのですが、それから何秒も経たないうちにいるものが私の目をひきつけました。道路から少し入ったところに石仏とおぼしきものがあつたのです。

こんなところに何があるのだろう、と思いながら車を降り、そばまで行ってみると、それは庚申塔でした。正確に言うと、像はふたつあり、そのうちのひとつが庚申塔で、縦八〇センチ、横五〇センチほどの大きさでした。いま一つは道祖神なのでしょう。縦五〇センチ、横三〇センチほどのものがあつました。いずれも造られてから数百年経っているでしょう。庚申塔に彫られた青面金剛(しょうめんこんごう)像や「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿の顔は風化し、ほとんどわからなくなっていました。もう一つの像も同じです。

ここの青面金剛像が元々どういう顔であったのかは、私にはわかりません。ただ、私がこの場所ですべて初めて出合った金剛像は素朴でどこにでも出合いそうな顔でした。見ただけでホッとしました。金剛像の近くにはトキワイカリソウがたくさんあります。これが白い花を咲かせる頃、金剛像はどんな表情を見せてくれるのか楽しみです。

さて、この日はもうひとつ、初めての出会いがありました。大島区大平で私が発行しているレポートの号外を配布している時でした。家の西側に残っていた雪を消す作業をされていた七〇歳前後の男性に「玄関のところにはピラを置かせてもらいました」と声をかけ、別の家に向かって歩いていくところ、この男性が私を追いかけてこられました。

「あなたにみてもらいたいものがあるんです」そう言われたので、私は役に立てるか迷いながらも「はい」と返事をしました。すると、男性は軽く走って家の中に入って行きました。数分後、私に渡されたものは、『地ざくら』という遺稿歌集でした。

男性からは「あなたが書かれていますこと同じことが載っています」というコメントもあつたので、家に帰る途中、気になって歌集を開きました。短歌はまったくの素人ですが、私の心を揺さぶるものがありました。

「修学旅行目の前にして臥り居る吾子に卵を無理にすすむる」という歌もそのひとつです。体調を崩した子を心配する親がいて、二十数年前に亡くなったこの親のことをいまでも思う子がいる。歌集には「雪ほらの中に生まれたる露の子の黄緑ゆかし春立ちにけり」という歌もありました。春本番を前に素敵な歌集と出合うことができました。

県立吉川高等特別支援学校で3回目の卒業式

県立吉川高等特別支援学校の卒業式に行ってきました。同校の卒業式はこれで3回目。在校生、教職員、保護者、来賓が見守る中、14人の生徒が巣立っていきました。

同校は2015年度から校長が中田俊幸先生に変わりました。中田校長は式辞の中でクラーク博士の「少年よ大志を抱け」を引用し、「このことばには『しかし、お金を求めるためであってはならない』などの続きがある。人としてあるべき姿に近づくために夢を持って頑張ってほしい」と激励しました。前校長同様、わかりやすく、心に残る言葉でした。

来賓の挨拶で祝辞を述べた坂田信義PTA会長の言葉もまた心にビンと響きました。坂田会長は卒業生に向かって、「私自身が皆さんから成長させてもらった。ありがとう」とのべた後、「失敗から学べ」「遠くを

見よ」ということを自らの経験のなかから語り、感動を与えました。

卒業生を代表して堀内元哉君が「社会人として自立できるように導いてくださった皆さんに感謝します。これからは思い出を胸にそれぞれの道を力強く歩んでいきます」としっかりと決意をのべました。

一番盛り上がったのは、いちおう式典後になっていますが、事実上、式と一体になっていた全校合唱です。曲はEXILEの「道」。「優しさに出会えたことで僕は独りじゃなかった」など歌詞には卒業生たちの経験と重なる言葉がいくつも入っています。2年間卒業生と学校生活を共にした赤松雅史前校長も来賓席で涙を流されていました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月9日(水)	3月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.050
上越北消防署	0.050	0.053
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.053	0.057
東頸消防署	0.053	0.060
高士分遣所	0.060	0.040
名立分遣所	0.060	0.053



春よ来い

第三九七回

初の出会い

先日の日曜日にも暖かい日となりました。気温はおそらく一五度くらいになったのではないでしょう。この日も忙しい日ではあったのですが、動き回っているときに思わぬ出会いがあり、心が温まりました。

国道253号線を車で進み、釜淵から虫川大杉駅の見えるところまで行ったとき、「こんないい天気だったらキクザキイチゲが咲いているかも知れない」と思いました。車を大杉のある集落に進め、そこから長さ七〇メートルほどの小さなトンネルを抜けて中猪子田をめざしました。

この道を選んだのには理由があります。数年前、虫川から安塚の坊金に至る道の土手に薄紫色の、きれいなキクザキイチゲの群落を見つけました。ひよつとすると、この北側の山裾にも咲いている場所があるのではないかと、そう思ったのです。

車をゆっくり走り、山裾を見たのですが、残念ながらそれらしきものは見つかりませんでした。「北側なんだから、まだ早かったのかも……」そう思っただけであきらめたのですが、それから何秒も経たないうちにあるものが私の目をひきつけました。道路から少し入ったところに石仏とおぼしきものがあつたのです。

こんなところに何があるのだろう、と思いながら車を降り、そばまで行ってみると、それは庚申塔でした。正確に言うと、像はふたつあり、そのうちのひとつが庚申塔で、縦八〇センチ、横五〇センチほどの大きさでした。いま一つは道祖神なのでしょうか、縦五〇センチ、横三〇センチほどのものがあつました。いずれも造られてから数百年経っているでしょう。庚申塔に彫られた青面金剛(しょうめんこんごう)像や「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿の顔は風化し、ほとんどわからなくなっていました。もう一つの像も同じです。

この青面金剛像が元々どういう顔であったのかは、私にはわかりません。ただ、私がこの場所ですべて出会った金剛像は素朴でどこにでも出会いそうな顔でした。見ただけでホッとしました。金剛像の近くにはトキワイカリソウがたくさんあります。これが白い花を咲かせる頃、金剛像はどんな表情を見せてくれるのか楽しみです。

さて、この日はもうひとつ、初めての出会いがありました。大島区大平で私が発行しているレポートの号外を配布している時でした。家の西側に残っていた雪を消す作業をされていた七〇歳前後の男性に「玄関のところにはピラを置かせてもらいました」と声をかけ、別の家に向かって歩いていくところ、この男性が私を追いかけてこられました。

「あなたにみてもらいたいものがあるんです」そう言われたので、私は役に立てるか迷いながらも「はい」と返事をしました。すると、男性は軽く走って家の中に入ってきました。数分後、私に渡されたものは、『地ざくら』という遺稿歌集でした。

男性からは「あなたが書かれていることが載っています」というコメントもあつたので、家に帰る途中、気になって歌集を開きました。短歌はまったくの素人ですが、私の心を揺さぶるものがありました。

「修学旅行目の前にして臥り居る吾子に卵を無理にすすむる」という歌もそのひとつです。体調を崩した子を心配する親がいて、二十数年前に亡くなったこの親のことをいまでも思う子がいる。歌集には「雪ほらの中に生まれたる露の子の黄緑ゆかし春立ちにけり」という歌もありました。春本番を前に素敵な歌集と出合うことができました。

菖蒲で今年も防災訓練

5年前の長野県北部地震では市内でも大島区や安塚区などで大きな被害が出ました。3月12日、大島区菖蒲で防災訓練が行われるというので行ってきました。

訓練は震度5強の地震発生とともに

に火災も発生したという想定のもとに地域住民あげて行われました。この日は、午後1時32分に防災無線で緊急放送が流され、菖蒲地区61世帯150人のうち74人が避難所である菖蒲農村環境改善センターに集まりました。多くの人は軽トラなどで避難しましたが、家から25分かけて歩いてきた人もいました。訓練では避難訓練、放水訓練、初期消火訓練などが行われました。地震を契機に次々と集落を離れる家が出て、一気に高齢化が進みましたが、放水訓練で子どもたちが



が最前列で様子を見ていたのが印象に残りました。同地区では5年前の地震後、毎年3月に防災訓練をしてきました。大事なことですね。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月9日(水)	3月16日(水)
上越南消防署	0.050	0.050
上越北消防署	0.050	0.053
新井消防署	0.050	0.043
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.053	0.057
東頸消防署	0.053	0.060
高士分遣所	0.060	0.040
名立分遣所	0.060	0.053

2回目の雪上アート

12日は、大島区藤尾へも行ってきました。ここでは昨年に続いて雪アート作品が藤尾町内会だけでなく、近隣の町内会の人たち、それと大島小学校児童などが力を発揮して作られました。昨年よりも少ない雪だったので、どうなることかと心配したのですが、作品の出来栄は昨年以上、とても見事なものでした。この日は80人からの人たちが参加したということ



す。布施正栄実行委員長は、「まだ作品を作る場所は十分にあります。いずれは7団体、8団体くらい参加していただき、300人くらいは集まるようにしたい」と抱負を語っておられました。